次の注意事項を必ず読んでから報告書を作成すること

1. 記入上の注意
2. フォーマットに準拠していない報告書は受理しません。必ずこのファイルの2ページ目以降に上書きするかたちで報告書を作成すること。
3. 報告書は本文2ページと写真1ページの合計3ページ構成とすること。写真は本文中に挿入せず、本文に続くページの定められた場所に配置すること。写真の数は2点とします。キャプションも忘れずに記入して下さい。
4. 本文は「対象とする問題の概要」「研究目的」「フィールドワークから得られた知見」「反省と今後の展開」の4項目で構成し、各項目に設けられている字数の上限を守ること。必要に応じて図表を挿入しても構いませんが、本文は必ず2ページまでに収めて下さい。
5. この報告書のフォントは、英数字も含めて全て明朝体に統一しています。研究課題名と副題は14ポイントの太字、本文は10.5ポイントです。フォントや文字サイズを勝手に変更してはいけません。読点には「、」を、句点には「。」を使用して下さい。
6. 提出時の注意
7. この報告書は、ウエブページに掲載されるほか、『臨地』など研究科が発行する印刷物に収載されます。多くの人の目に触れるものですので、提出する前に必ず主指導教員の確認・指導を受けて下さい。
8. 提出は、メールにて支援室（shien@asafas.kyoto-u.ac.jp）

CCに主指導教員を入れて送信下さい。

1. 提出の際は、ファイル名を「2022Report-Your Name-J」（Your Nameの部分をローマ字で表記したあなたの氏名に変えて下さい。和文は最後が-J、英文は-Eとすること。）として下さい。
2. 送付する際のタイトルは、「Report for Overseas Explorer Program (your name)」（e.g. Report for Overseas Explorer Program (Sarina.Koga)）」として下さい。国内EXPの場合は、OverseasをDomestic に変えて下さい。
3. 必ず大学のメールアドレスから送付して下さい。
4. 報告書に挿入したのと同じ写真2点のJPGファイルを同時に提出すること。本文中に図を使用した場合は、その図の鮮明なファイル（JPG、GIF、PNGなど汎用性のある形式で保存したもの）も提出して下さい。

|  |
| --- |
|  |
| **研究課題名****――副題――** |
|  |
| 地球　太郎平成XX年（編）入学派遣先国：XX国渡航期間：年月日から年月日 |
|  |
| キーワード：エクスプローラー、報告書、提出期限厳守 |
|  |

**対象とする問題の概要（400字以内）**

　ここから書き始めて下さい。

**研究目的（400字以内）**

　ここから書き始めて下さい。

**フィールドワークから得られた知見について（800字以内）**

　ここから書き始めて下さい。

|  |
| --- |
| 表1　報告書の項目と字数制限 |
| 項目名 | 字数制限 |
| 対象とする問題の概要 | 400字以内 |
| 研究目的 | 400字以内 |
| フィールドワークから得られた知見 | 800字以内 |
| 反省と今後の展開 | 400字以内 |
| 出所：臨地教育・国際連携支援室 |

**反省と今後の展開（400字以内）**

　ここから書き始めて下さい。

**参考文献**

　必要に応じて参考文献のリストを記載して構いません。参考文献の書式は『アジア・アフリカ地域研究』の執筆要領に従ってください。

URL（<https://www.asafas.kyoto-u.ac.jp/publications/guidelines/>）

※なお、必要に応じて脚注[[1]](#footnote-1)を挿入しても構いません。

|  |
| --- |
|  |
| 写真1をここに挿入（写真1のJPGファイルをこの報告書とともに提出） |
| 写真1のキャプション |
|  |
| 写真2をここに挿入（写真1のJPGファイルをこの報告書とともに提出） |
| 写真2のキャプション |

1. 注を付けたい単語を選択して、Wordの「参考資料」タブの「脚注の挿入」機能を使用して注を付けてください。 [↑](#footnote-ref-1)